



校訓：自主独往の精神

他人に頼ることなく、
自分の意志と努力で
行動に責任を持ち、
常に理想に向かって
たくましく歩む。

NUMAZU CHUO

【伸びしろ 無限大!】



発行日：2024.4.3(水)

Change(変革)・Challenge(挑戦)・Chance(好機)・Continue(継続)

2年生の皆さん、保護者の皆様、進級おめでとうございます。2年生は、学校の「柱」です。いろいろな場面で、学校を引っばっていかねばなりません。皆さんの自主的・主体的な活動が大いに期待されます。そしてまた、1年後には自分の進路が明確になっていなければなりません。1年間はあっという間です。進路実現に向けて、ここでも自主的・主体的に動いていきましょう。また、これからの人生において様々な人たちの力を借りて生きていくこととなります。充実した人生を送るためには「応援される人」にならなければいけません。そのために何が必要か、ということ念頭に置いてあと2年ある高校生活を過ごしていきましょう。口ではなく行動。「来年から」ではダメです。自分がすべきことを見据え、それに誠実に前向きに取り組んでいけば、「誰か」が見ている、困った時にはきっと助けてくれますよ。その「誰か」の中に、我々2学年職員11名がいることは言うまでもありません。 学年主任 渡邊 静香

～2024年 令和6年度
4月の予定～

4月は2者面談月間のため40分日課

- 4日(木)入学式*2・3年家庭学習日
- 5日(金)⑤LHR(学年集会)
⑥自主独往(Edv Path)
- 10日(水)①～④課題テスト
⑤部活紹介(LHR)⑥LHR
- 11日(木)遠足(横浜・江の島方面)
*マナーを守って行動しましょう。
- 12日(金)開校記念日
- 15日(月)課題テスト追試
- 16日(火)課題テスト追試
- 18日(木)14:50～各種委員会
- 19日(金)⑤LHR「修学旅行について」
⑥LHR「交通安全教室」1・2年合同
- 26日(金)⑤LHR「修学旅行」
⑥LHR「たちばな祭に向けて」
- 30日(火)家庭学習日(7/27代休)

5月の主な予定

- 10日(金)⑤⑥LHR
「たちばな祭に向けて」
- 13日(月)～15日(水)中間試験
- 16日(木)検尿
- 17日(金)検尿①～④40分日課
⑤特別時間割
和風会・後援会総会
- 23日(木)各種委員会、選管委員会
- 24日(金)火曜日課①④⑤⑥ 英検
⑤集会・身だしなみ点検
⑥LHR「たちばな祭に向けて」
- 30日(木)①②総練習
③教室明け渡し準備・リハ
- 31日(金)リハーサル
- 6/1(土)～3日(月)たちばな祭

●学年目標

- ・Change(チェンジ)・・・マナーを身に付け自己責任を持つ
- ・Challenge(チャレンジ)・・・進路に対する意識の向上
- ・Chance(チャンス)・・・信頼関係の構築(仲間を大切に)
- ・Continue(コンティニュー)・・・継続する(感動と感謝)

今年度は“4つのC”で行きます。4つ目のCは継続するという意味です。「継続は力なり」と言われます。何か1年続けてみましょう。また2年生は「修学旅行」があります。思い出の残る研修にしましょう。何事にも自覚・責任・行動が必要不可欠となります。新しい仲間とワクワクする時間を過ごす工夫を心掛けていきましょう。

●各種委員会の充実

色々なところでいろいろなマナーがあります。まずは沼津中央高等学校のルールをさらに理解して積極的な行動ができるようになってほしいです。その取り組みの一つとして各専門委員の積極的な活動を実行していきたいと思えます。学年としては学級委員活動をさらに活発化させたいと思っています。是非とも積極的に立候補して委員として学校のために活動しましょう！

2年部先生紹介

学年主任	渡邊 静香	(保健体育)
21HR	井口 美紗子	(英語、アドバンスコース主任)
22HR	鈴木 隆太	(福祉、医療・福祉コース主任)
23HR	富田 紗生	(国語・書道)
24HR	植松 正樹	(商業・情報)
25HR	瀬尾 嘉章	(数学)
26HR	柴 宏矢	(図書課長・国語)
副担任	泉 芳史	(数学)
〃	屋 克俊	(地歴公民)
〃	塩崎 麻紀	(理科)
〃	羽二生 さくら	(地歴公民)

皆よろしく！「失敗は成功のもと」
楽しいこう！



●修学旅行について

6月25日(火)～28日(金)3泊4日関西方面。
詳細は4月に学校HP「修学旅行について」で記載を予定しております。
メールでも配信しましたが、3日(水)始業式に参加申込書は配布しました。期日10日(水)となっております。また食物アレルギーアンケートは全員必ず解答をお願いいたします。

●タブレットについて

授業はもちろんですが、修学旅行の研修についても活用しますので携帯と同様に充電をすることを忘れずに習慣にしましょう。

